

## 第5学年3組 外国語活動学習指導案

令和元年6月6日(木) 第3限 5年3組教室 指導者 安藤 友紀 Cliff Webb

1 単元 Unit 3 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業(7時間完了)

### 2 目標

- (1) 曜日や教科に関するやり取りや活字体の大文字を書くことができる。(知識及び技能)
- (2) 学校生活に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えたり、時間割について相手に分かりやすく伝えたり、聞き取ったりすることができる。(思考力・判断力・表現力等)
- (3) 相手の様子を気にしながら会話し、英語によるコミュニケーションを楽しもうとする。(学びに向かう力・人間性等)

### 3 構想

#### (1) 子供たちを見つめる

本学級の児童は、第1学年からALTやST、HRTと外国語活動を進め、数を尋ねる英語表現や、好きなものを尋ねたり、答えたりする表現などに親しんできている。そして、今年度は、新学習指導要領への移行期間2年目となり、岡崎市での方針に沿って、HRTがALTと協力して、年間70時間の外国語活動が始まった。

4、5月には、自己紹介や誕生日カレンダーづくりを通して、好きなものや欲しいものを伝え合う活動に取り組んだり、アルファベットの大文字を識別して読んだりしてきた。英語でのコミュニケーションを図る中で、子供たちがアイコンタクトやリアクション、ジェスチャー、相づちなどを意識して会話をしようとする姿が、活動に取り組む様子や振り返りカードへの記述から伺える。一方で、ゲーム活動には積極的に取り組むものの、自分の考えを伝え合う場面では自信をもって取り組むことができない児童や、男女が関わることに消極的になってしまう児童なども見られ、相手に配慮しながら話したり、聞いたりするというコミュニケーションを円滑に行うための姿勢が本学級の課題である。そこで、本単元では、これまでの気分や好みといった身の回りの内容から、児童の関心が高いであろう将来の夢(職業)と教科を結びつけ、ある職業に就くためにはどんな学習をしていくとよいかという視点から「オリジナルの時間割」を作る活動を仕組む。クイズ形式で紹介し合う場を設定することで、他者に配慮しながら、相手に分かりやすく伝えたり、聞き取ったりして、積極的に英語コミュニケーションを楽しむ子供を育てたいと考えた。

#### (2) 教材を選ぶ

本単元は、新学習指導要領に対応した小学校外国語教材「We can!1」のUnit3に位置付けられている。世界の子供たちの学校生活について知り、自分たちの学校生活との共通点や相違点に気付かせることにより、子供たちの視野が広がるであろうと考える。その後、曜日や教科に関するやり取りに慣れてきたところで、夢の職業に就くためにはどんな学習をしているとよいかという視点から「オリジナル時間割」を作成し伝え合う。児童にとって身近なものである時間割と、関心が高いであろう将来就きたい職業を関連付けることで、より積極的なコミュニケーション活動を期待したい。

また、キャリア教育の視点からも、教科の大切さや目指す職業に就くために必要な力を考えることは、「学び続けたい」、「働き続けたい」という児童の姿に繋がっていくと考える。

#### (3) 学びを深める

単元の導入では、世界の学校生活の様子を動画で紹介し、本単元への興味・関心を高めさせた。そして、曜日や教科の尋ね方や答え方について、ゲームやチャンツを取り入れながら、繰り返し

し聞いたり言ったりする活動を積み重ねていく。さらに、「夢の時間割」を考えて伝え合ったり、将来就きたい職業を見据えて「オリジナル時間割」を作成したりし、本時の学習へとつなげていく。

本時では、夢の職業に就くために必要であろう教科やオリジナル教科を組み合わせで作った「オリジナル時間割」を、学習した英語表現を使ってクイズ形式で伝え合う。クイズ形式を取り入れることで、一方的な発表ではなく、相手や会話の状況に応じて、自分の考えや気持ちを伝え合う力を高めさせたい。ここでは「夢実現スクール」という場面設定を行い、夢の職業とそのために頑張っていることを「オリジナル時間割」を使って伝え合う、という活動を仕組んでいく。さらに、会話のあとに評価シールを使って、相手のよかったところを評価し合う活動を取り入れる。シールの色は赤・青・緑・黄の4色で、赤はアイコンタクト、青はリアクション、緑はジェスチャー、黄は相づちのシールとする。このように、相互評価で、よいところを伝え合い、ワークシートでの振り返りにつなげたい。

単元全体を通して、コミュニケーションの基本的なスキルである、アイコンタクトやリアクション、ジェスチャー、相づちなどを中心に、常に児童のよさを捉えて褒め、仲間とともに英語活動を楽しもうとする態度を育てていきたい。

#### 4 単元計画 (7時間完了 本時 6/7) ※は学習・使用する表現

学習課題	学習内容	時数
曜日や教科を英語で言えるようにしよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像を見て、世界の学校の様子を知る。</li> <li>ゲーム、チャンツを通して、曜日や教科の英単語に慣れる。</li> <li>アルファベットの大文字を書く練習をする。</li> </ul>	1
曜日や教科を尋ねたり答えたりできるようにしよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな教科や持ち物に関する Small Talk を聞き、大まかな内容を捉える。</li> <li>歌やゲーム、チャンツを通して、曜日や教科の尋ね方や答え方に慣れる。</li> </ul> ※Do you have～? Yes, I do. / No, I don't. I have /don't have (教科) on (曜日). ※What do you have? I have～. <ul style="list-style-type: none"> <li>アルファベットの大文字を書く練習をする。</li> </ul>	2
友達と「夢の時間割」について、伝え合おう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像を見て、世界の時間割について知る。</li> <li>友達と「夢の時間割」を紹介し合う。</li> </ul> ※What do you have on (曜日)? I have ～.I like～. I want to～.	1
自分になりたい職業に合った、「オリジナル時間割」を作ろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業の英単語をいくつか知り、自分になりたい職業を英語で言えるようにする。</li> <li>その職業に就くためのオリジナル教科を含めた、「オリジナル時間割」を作る。</li> </ul> ※Are you ～? Yes, I'm～. /No, I'm not～. <ul style="list-style-type: none"> <li>アルファベットの大文字を書く練習をする。</li> </ul>	1

「夢実現スクール」の時間割について伝え合おう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>作成したオリジナル時間割を、クイズ形式で紹介し合う。</li> <li>※Do you have～？ Yes, I do./No. I don't. I have/don't have (教科). I like～./ I want to～.</li> <li>Are you (職業)？ Yes. I am. I like～./ I want to～.</li> </ul>	1 (本時)
学習のふりかえりをしよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>この単元で習得した表現やアルファベットの書き方を復習する。</li> </ul>	1

## 5 本時の学習指導

### (1) 目標

- ①「オリジナル時間割」を使い、クイズ形式を取り入れた会話の状況に応じて、既習の英語表現を適切に使い、伝え合うことができる。(思考力・判断力・表現力等)
- ②英語によるコミュニケーションを楽しみながら、相手に配慮しながら意欲的に活動しようとする。(学びに向かう力・人間性等)

### (2) 準備

- ①子供…「オリジナル時間割」のワークシート
- ②HRT・ALT…デジタル教科書、コミュニケーションスキルカード、評価シール(赤・青・緑・黄)

### (3) 主体的・対話的で深い学びにせまる手だて

- 「夢実現スクール」という場面や「クイズ形式」を取り入れた会話を設定することにより、英語によるコミュニケーションがより円滑に楽しく行えるようにする。

### (4) 展開

時間	子供の活動	HRTの活動	ALTの活動
つ か む (5)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 英語で挨拶をする。</li> <li>2 前時の復習をする。</li> <li>3 本時の学習課題を把握する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>私はアナウンサーになりたいから「早口言葉」の授業を入れたよ。</li> <li>ぼくはSPになりたいから「空手」の授業を入れたよ。</li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>元気で挨拶し、安心して英語を話せる雰囲気をつくる。</li> <li>前時に一人一人が考えた「夢実現スクール」の「オリジナル時間割」を伝え合うことを提案し、本時の課題につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>元気で挨拶をする。</li> <li>フラッシュカードを使って、職業の単語を発音練習する。</li> </ul>

「夢実現スクール」の「オリジナル時間割」について伝え合おう

さ  
ぐ  
る  
(10)

- 4 チャンツ (Let's chants P.22) に合わせて歌う。  
5 「夢実現スクール」の「オリジナル時間割」を伝え合う活動を行う。

- (1) HRT と ALT のデモンストレーションを見て、活動の仕方について知る。  
・ペアになってクイズ形式でやるんだね。  
・ジェスチャーをつけると伝わりやすいね。

- ・児童と一緒に元気よく歌う。
- ・本時で自分が意識することを決めるために、コミュニケーションスキルカードを提示する。

- ・アイコンタクト
- ・リアクション
- ・ジェスチャー
- ・相づち

- ・ALT とデモンストレーションをして、活動の流れを説明する。
- ・英語でどう言うか分からない言葉は日本語で言えばよいことを伝える。

- ・児童と一緒に元気よく歌う。

- ・HRT とジェスチャーを交えて楽しくデモンストレーションを行い、コミュニケーションスキルの模範を示す

A : クイズの解答者 (HRT)    B : クイズの出題者 (ALT)

※下線は本単元で学習した表現、二重線は本時新出の表現、波線はコミュニケーションスキルのジェスチャー、相づちとして児童に取り入れさせたい表現。

※始めに英語で挨拶・自己紹介、最後に挨拶をする。

A : What do you have?    B : I have two P.E.

A : Two P.E.! (繰り返して言う)    B : I like いろいろな sports very much. (手を回す)

A : Nice!(褒め言葉)    B : I have Japanese.

A : Me, too. (ハイタッチをする)    B : 日本語上手になりたい。

A : I see. Good. Are you marathon runner?    B : No! I don't like marathon.

★A : What's your Original 教科?    ★B : My original 教科 is “サインの練習”

A : Really? Sign, please!    B : OK! My original 教科 is “ヘッドイング練習”

A : Oh! Are you a soccer player?(職業名は日本語でもいい)    B : That's right.(自分の職業カードを見せる)

A : Nice! Fight! (褒め言葉)    B : Thank, you.

A : See you.    B: See you.

- (2) オリジナル教科を伝える  
会話をペアで練習する。

B: What's your Original 教科?

A: My original 教科 is “サインの練習”

- ・机間指導をし、戸惑っている児童に助言しながら、必要であれば一緒に話す。

- ・机間指導をし、戸惑っている児童に話型を示しながら支援する。

<p>ふかめる (23)</p> <p>ふりかえる (7)</p>	<p>(3) ペアで「オリジナル時間割」を見ながら、クイズを行う。(各クイズ1分出題 ⇨解答を交代して合計2分、ペアを交代して繰り返す)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇くんは、アイコンタクトをしっかりとってくれるから話しやすいよ。</li> <li>・〇〇さんが消防士になりたいなんてびっくり。</li> </ul> <p>(4) クイズを再開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇くんの時間割には、シャンプーの授業があったよ。美容師さんかな。</li> </ul> <p>6 ワークシートに振り返りを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌手になるためにダンスの練習を頑張っていることを伝えられたよ。</li> <li>・相づちの評価シールをたくさんもらったので、これからも相づちしながら英会話をしていきたい。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の2点ができるように指示する。</li> <li>①相手の良かったところを、4つのコミュニケーションスキルの中から1つ選ぶ。</li> <li>②相手に伝えてから、選んだ評価シールをワークシートに貼る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>アイコンタクト…赤 リアクション…青 ジェスチャー…緑 相づち…黄</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・途中で活動を止め、楽しく会話している児童2人を意図的指名する。</li> <li>・友達のよい面を参考にして、次の会話ができるよう助言する。</li> <li>・本時でできるようになったことや、相手からもらった評価シールを基に振り返りをするよう指示する。</li> <li>・机間指導し、目標①と②について振り返りが書けている児童をそれぞれ意図的指名し、称賛する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導し、児童のオリジナル教科を英語でも発音し、興味をもたせる。</li> <li>・児童と一緒に活動し、英語で楽しくコミュニケーションをとっている児童を称賛する。</li> </ul>
-----------------------------------	--	--	--

### (5) 評価

①友達の夢の職業を想像しながら「オリジナル時間割」について尋ねたり、自分の「オリジナル時間割」を分かりやすく伝えたりすることができたか。

(活動4・5の発言や様子、活動6の記述より)

②アイコンタクトやリアクション、ジェスチャー、相づちを交え、相手に配慮しながらコミュニケーションをとろうとしたか。

(活動4・5の発言や様子、活動6の記述より)